

○地域公共交通の活性化の取り組み

北陸信越地域における地域公共交通の現状と課題

- ・全国より早く進行する高齢化
- ・中山間地域・積雪寒冷地域を多く抱える
- ・自家用乗用車への依存率が高い
- ・利用者の減少が止まらない地方鉄道・路線バス
- ・バス路線の廃止・撤退による交通空白地帯の出現
- ・都市部における交通渋滞等によるバス走行環境の悪化
- ・コミュニティバス・乗合タクシー・福祉有償運送の普及促進
- ・L R T など新たな交通システムの導入の動き 等



→ 地域の活力維持のため地域公共交通の活性化が不可欠

北陸信越地域における地域公共交通活性化に向けた取り組み

『地域公共交通の活性化・再生総合事業』を活用した積極的な支援の展開

地域公共交通の活性化・再生に取り組む地域を支援することを目的として平成20年度に新設された『地域公共交通活性化・再生総合事業』や公共交通活性化総合プログラムを活用し、バス交通の活性化、デマンド型乗合タクシーの導入、地方鉄道の活性化等を支援。

新潟県佐渡市

佐渡航路の活性化を通じた地域づくりに取り組む計画を策定する。



長野県安曇野市

市域全域をカバーする新たな公共交通システムとしてデマンド型乗合タクシーの導入を行なう。



地域公共交通活性化の取り組み事例

富山県小矢部市

生活の足を確保するため、よりきめの細かい路線配置を目指したコミュニティバス運行を行なう。



石川県金沢市

歩行者と公共交通を優先するまちづくりを推進するためバス交通の利便性向上のための取り組みをすすめる。

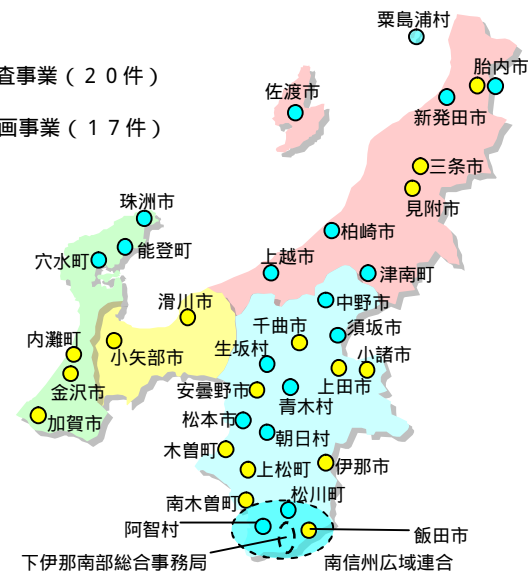


20年度支援事業実施箇所

平成20年9月30日現在

● 調査事業（20件）

● 計画事業（17件）



→ 地域公共交通の活性化によって、住民の日常生活を支えると共に交流拡大の要となる移動機会の確保を図り、北陸信越地域を活性化